

学研フードテック共創プラットフォーム 設立趣意書

食をめぐるっては、地球規模の気候変動による食料生産への影響が顕著となり、生産や飲食の現場における担い手や労働力の不足、各種資材費や燃油価格の高騰が経営に影響を及ぼしております。大量の食品ロス発生も問題となっています。

また、ライフスタイルの変化による中食需要の拡大や健康志向の高まり、環境負荷低減や倫理的消費（エシカル）に対する認知度の向上等、消費者志向は多様化しています。

一方、人口増加等による食料需要の増大や温暖化対策のための温室効果ガス削減が世界的な課題となっており、SDGsの観点からも食に係るグローバルな課題の解決が求められています。

こうした食に係る課題解決の対策として、「食」×「先進テクノロジー」である「フードテック」への期待が高まっています。

「フードテック」については、生産分野におけるスマート技術や植物工場、食品加工分野における代替肉や藻類食品の開発、飲食・調理分野における加工配膳ロボットや美味しさと健康への科学的追求、流通・販売分野におけるAIの導入やスマートフードチェーンの構築等、範囲は多岐にわたっていますが、研究や開発を進める上では部分最適でなく全体最適となる視点が必要です。

また、最先端技術によって世界的な食に係る課題解決へ貢献するとともに、その成果がそれぞれの地域や生活者へ還元されることも望まれます。

けいはんな学研都市としては、これまでから「伝統と革新」「文化と環境」を大切にしながら、「次世代スマートシティ」「グローバル・オープンイノベーション拠点」を目指して世界的な課題に取り組んでおり、「フードテック」についてもこれらの特長を活かして、けいはんな学研都市ならではの取組を進めることができたらと考えております。

そのため、大学や研究機関、民間企業や行政等の構成員による「学研フードテック共創プラットフォーム」を設立し、「Foodtech for Well-being」の考え方を大切にしながら、情報交換や交流を行い、スタートアップの設立機運を醸成し、共同による研究や企画を進めてまいります。

また、最先端のフードテック関連企業等の集積拠点「けいはんなフードテックヒル」の形成につなげてまいります。

今後は、国内はもとより海外の大学や研究機関、民間企業や行政等が「産学官」の世界的なネットワークを形成し、連携・研究チームを組成してオープンで幅広い情報交換やコラボレーションを行うことにより、イノベーションを推進して食に係る人類の課題解決に貢献してまいりますので、趣旨に賛同いただき、プラットフォームへの参画を広く呼びかけるものです。

2023（令和5年）年9月

（公益財団法人）関西文化学術研究都市推進機構

「学研フードテック共創プラットフォーム」のコンセプト

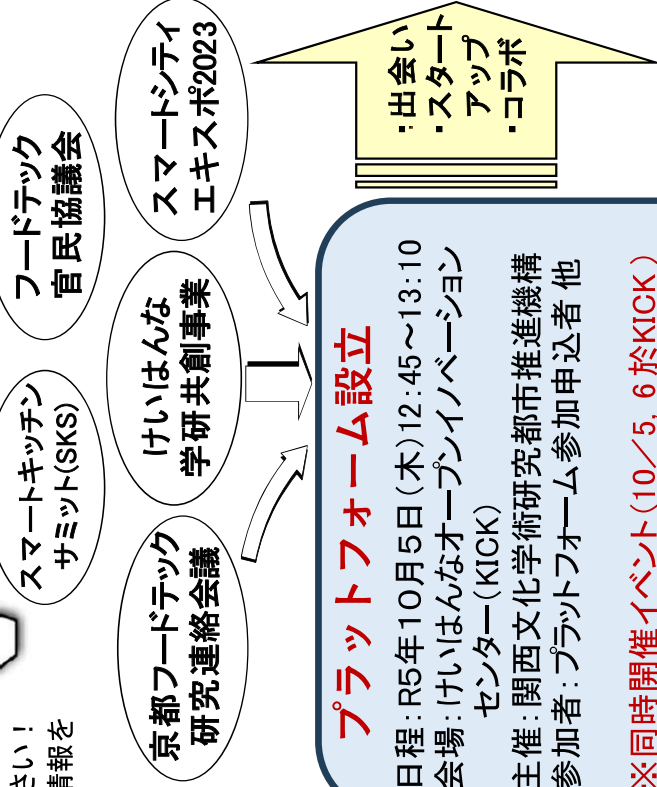
Foodtech for Well-being

【Mission】 食に係る人類の課題をフードテックで解決する！

【Vision】 Missionを果たすために、国内はもとより海外の大学や研究機関、民間企業や行政等が「産学官」の世界的なネットワークを形成し、連携・研究チームを組成してオープンで幅広い情報交換やコラボレーションを行うことにより、イノベーションを推進。

関西文化学術研究都市推進機構 検索

学研のホームページをご覧ください！
広報誌をはじめ、様々な関連情報を発信しています。



プラットフォーム設立

日程：R5年10月5日(木) 12:45～13:10
会場：けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)
主催：関西文化学術研究都市推進機構
参加者：プラットフォーム参加申込者 他

※同時開催イベント(10/5, 6 於KICK)
京都フードテックエキスポ2023
京都スマートシティエキスポ2023

学研の取組
※広報誌参照



プラットフォーム展開方向

★情報共有(グループメール等)と情報発信(SNS等)

★交流(出会い、パートナー探し等)を行い 共同の研究や企画(補助金・交付金申請・資金集めを含む)を創出
＜例示＞

- ① 研究テーマ「発酵のポテンシャルを最大化し世界へ！」
・発酵×サイエンス×多面的活用でグローバルフードへ
- ② 研究テーマ「和食を科学し世界へ！」
・和食×サイエンス×デジタルでグローバルフードへ
- ③ 研究テーマ「美味しい代替プロテイン開発！」
・精進料理×分子調理×植物由来タンパク質
- ④ 研究テーマ「日本茶の魅力の世界へ！」
・日本茶×美味しさ&機能性の科学×輸出拡大
- ⑤ 企画「最先端ロボット技術を製造工程や生産現場に！」
- ⑥ 企画「次世代植物工場&オートメーション化」

★「けいはんなフードテックヒル」の形成

けいはんな学研都市エリアの南田辺・狛田地区に、最先端のフードテック研究施設と関連企業が集積する拠点を形成

特長を活かしてプラットフォームを運営

特長①

- ・有職料理、懐石料理、精進料理、京料理等が生まれ進化
- ・和食がユネスコ無形文化遺産に(2013年)、更なる展開

特長③

次世代スマートシティを

めざす けいはんな学研都市！

150を超える研究・教育・文化施設が集積し、イノベーション中



けいはんな学研都市

特長②

- ・COP3で京都議定書締結(1997年)・第3回世界水フォーラム
- ・文化庁の京都移転(2023年) (2003年)

特長④

グローバル・オープンイノベーション

拠点をめざす けいはんな学研都市！

「世界の未来への貢献」「知と文化の創造」への役割を果たす

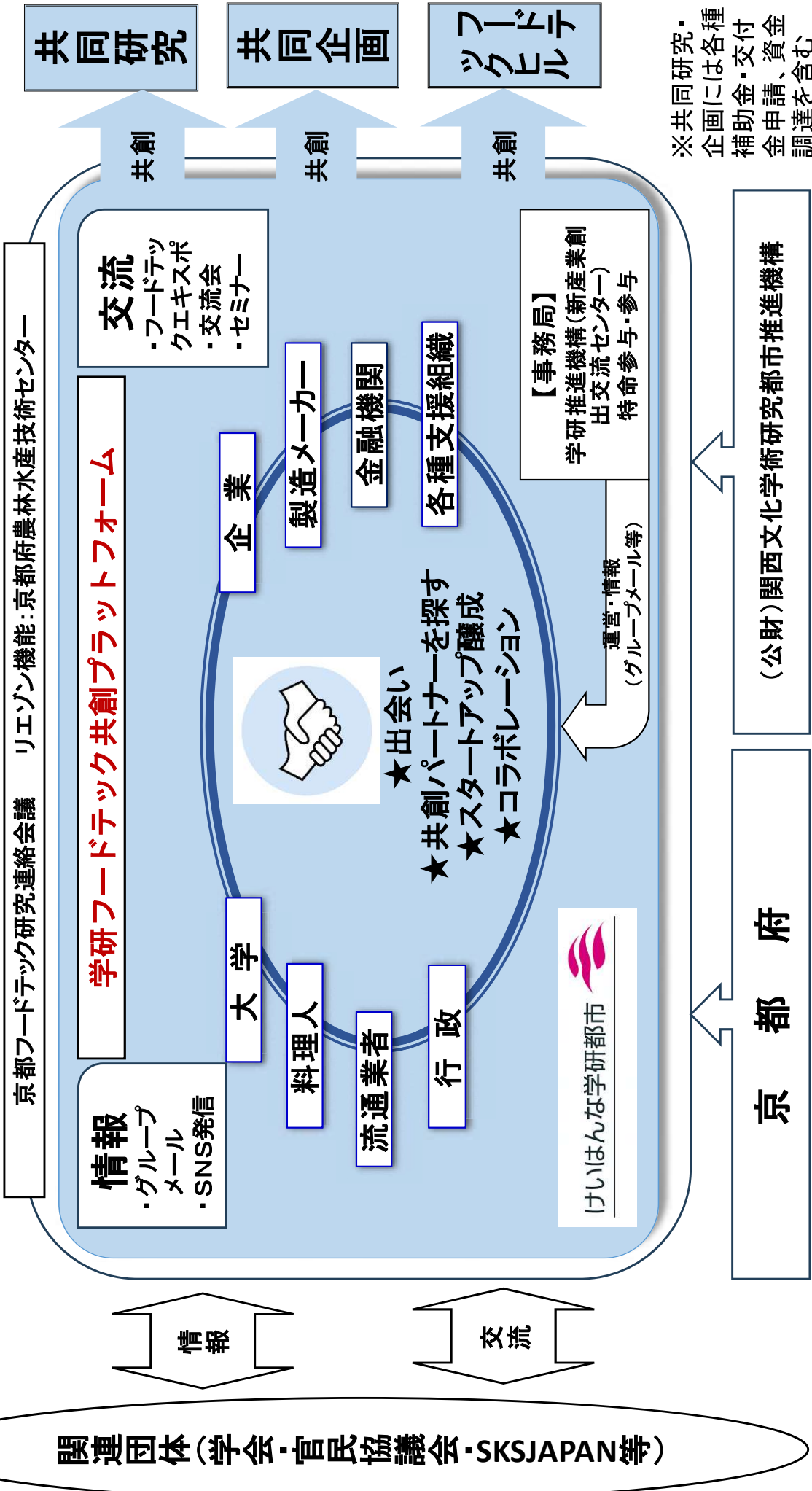
「学研フードテック共創プラットフォーム」運営イメージ

Foodtech for Well-being

【Mission】 食に係る人類の課題をフードテックで解決する！

【Vision】 Missionを果たすために、国内はもとより海外の大学や研究機関、民間企業や行政等が「産学官」の世界的なネットワークを形成し、連携・研究チームを組成してオープンで幅広い情報交換やコラボレーションを行うことにより、イノベーションを推進。

常にMissionとVisionを踏まえ運営 (Mission Drive)



※共同研究・企画には各種補助金・交付金申請、資金調達を含む

学研フードテック共創プラットフォーム 運営要領

令和5年9月制定

1 趣旨

この要領は、「学研フードテック共創プラットフォーム」の運営について定めるものである。

2 構成メンバー

大学や研究機関の研究者、民間事業者や金融機関の構成メンバー、料理関係者や生産者、国や自治体関係の職員等、関西文化学術研究都市推進機構が呼びかける「学研フードテック共創プラットフォーム設立趣意書」に賛同する者（以下、「会員」と呼ぶ）を構成メンバーとする。

3 事業内容

(1) 情報交換

会員は、グループメールやSNS、セミナー等で知見や保有技術を情報交換し発信する。

また、会員以外のフードテックに係る様々な情報を入手できるようグループメール等で情報共有する。

(2) 交流

けいはんな学研都市で開催されるフードテック EXPO をはじめ、各種の交流企画により、会員間の「出会い」「共創パートナー探し」「スタートアップ醸成」「コラボレーション」を促進するとともに、新たな研究テーマやシーズの発見につなげる。

(3) 共同研究・共同企画

会員間の情報交換や交流を通じて「共同研究」や「共同企画」を育み、その概要をプラットフォームで発信し、ステップアップにつなげる。

各種補助金・交付金・資金到達等に係る情報を会員間で共有し、共同の取組を促進する。



4 運営に係る意見

(1) 運営アドバイザー

設立趣旨に沿った運営のために、「運営アドバイザー」を委嘱できることとする。

(2) 運営への意見

会員の運営への意見は、事務局へ任意の様式で届けることができることとする。

5 参加・退会方法

所定の申込（or 退会）用紙に必要事項を記入の上、事務局へ届ける。

6 会費・経費

会員の会費は無料とする。但し、交流・共同研究・共同企画に係る経費は、必要により徴収できることとする。

7 その他

運営要領は、必要により適宜見直すことができることとする。

8 事務局

プラットフォームの事務局は、会員の協力を得て、関西文化学術研究都市推進機構新産業創出交流センターが事務局機能を担う。

(公益財団法人) 関西文化学術研究都市推進機構

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんな学研都市)

けいはんなプラザ ラボ棟3F

FAX : 0774-95-5104

電子メール : foodtech-jm@kri.or.jp

<問い合わせ先>

特命参与 小田一彦 廣瀬誓雄
参与 田中照彦